



緑3丁目北自治会が防災訓練を実施

緑3丁目北自治会(神谷雅美会長)が7月4日(土)に、グリーンタウンコミュニティセンターにおいて防災訓練を行いました。

当日は、石橋消防署救急救命士の指導による普通救命訓練を行いました。

訓練の内容は、倒れている方を発見してから、周囲の方と協力して消防署への通報、救急車が到着するまでの心臓マッサージとAEDの操作について繰り返し訓練しました。

参加者からは「今まで不安がありました、少し自信ができました。」など、訓練の大切さについての感想がありました。



AEDの操作講習の様子

災害時に非常用電源を提供

災害時に蓄電池の提供を受ける協定が結ばれました



東京都中央区に本社を置き、下野市成田地内に太陽光発電所建設を進めている株式会社ゼックと下野市は、6月16日(火)、災害時に市が非常用蓄電池の提供を受けるための「災害時における非常用電源対応に関する協定」を結びました。

この事業は株式会社ゼックが県内で初めて、大型太陽光発電設備共同購入システムとして太陽光分譲ファンド事業を活用して設備を建設するもので、この協定により、同社が所有する蓄電池16台及び充電施設を、災害時に市が無償で使用することができるものです。災害時に避難所が開設された際に避難した方々が持つ携帯電話等の充電に活用することができます。

なお、本太陽光発電所は7月1日(水)に稼働を開始し、順調に発電を続けています。



国分寺少年剣友会創立40周年記念剣道大会

県内の剣士が熱戦をくりひろげました

7月5日(日)に国分寺中学校体育館で、国分寺少年剣友会発足40周年を記念して剣道大会が開催されました。市内外から集まった463人の剣士たちが剣をとおして、心技体の鍛錬と友好を深めました。試合は、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の個人戦と道場対抗の団体戦で行われ日ごろの稽古の成果を発揮しました。大会は10年ごとに行われています



とちぎ獺祭米の会設立総会



山口県にある蔵元「旭酒造(株)」で作られる獺祭の原料となる酒米「山田錦」を生産する48名の方々が、生産技術の向上などを目的にとちぎ獺祭米の会を設立しました。

山田錦は生産がとても難しいとされていますが、今年は下野市を中心に約60ヘクタール作付され、収穫後は旭酒造に納入され美味しい日本酒になります。

しもつけクイズ

【正解は②】「カンパイン」が「いん」にNEUSTANに登場しました。日替り「かわら」に「カンパイン」が「いん」に登場しました。(http://www.shimotsuke-ta.com/entry-news.html?id=93626)